

日本消防協会における国際協力・国際交流について

財団法人日本消防協会
国際業務室

はじめに

日本消防協会は、会員(消防団員、消防職員)の福利厚生、消防技能の向上を主な目的としておりますが、国際消防事業の一環として義勇消防組織(我が国の消防団に当る)との国際交流を促進することにより、消防団員相互の情報の交換、友好親善を通じて我が国は勿論諸外国の消防の発展に大きな役割を果たすべく、各種の国際協力・国際交流事業を行っております。

具体的には、「世界義勇消防連盟」の設立とその運営、日中消防協会定期協議会の開催及び消防団長等幹部による海外への友好訪問と消防事情の視察等であります。

以下、それらの事業の概要を紹介することとします。

1. 世界義勇消防連盟の設立とその活動について

(1) 世界義勇消防連盟結成の経過

1980年11月に日本消防協会の主催により東京後樂園スタジアムにおいて、日本における近代消防100年を記念し、消防団の代表者40,000人余りによる世紀の祭典にふさわしい大会を開催しました。

この大会には、海外からも多数の義勇消防の代表者を招待しました。

海外の消防代表者は、日本の消防の実態をはじめて知り、名実共に永い歴史と伝統を誇る消防団の使命感と組織力に、大きな驚きと満足感を表され、今後、交流が継続的に行われるよう配慮方の要請がありました。

日本消防協会では、国際間の交流の重要性を認識するとともに義勇消防の国際交流は歴史的にも例がなく、国際交流の促進により消防の発展と友好親善に寄与できればとの思いをいたし、また日頃から「世界は一家、人類は兄弟姉妹」の理念を実践し、世界の平和と繁栄のため生涯を傾けている笹川良一会長の意向もあり、その実現の方針を決定いたしました。

1982年5月、日本消防協会では、国際親善と互惠互助の原則による「世界義勇消防連盟(Federation of World Volunteer Firefighters Associations 略称F. W. V. F. A.)」結成の構想案をとりまとめ、駐日各国大使館の協力を得て、各国の義勇消防組織に関する照会を行い、具体的な組織づくりを始めました。

(2) 世界義勇消防連盟結成会議の開催とその後の経過

世界義勇消防連盟結成会議(第1回総会)は、1982年12月1日、東京の笹川記念会館国際会議場において、日本を含む32カ国の

賛同を得、17 力国の消防代表者の参加を得て開催されました。

この会議において初代会長(1990 年から総裁)に日本消防協会笹川良一会長が満場一致で選出されました。

同時に、連盟のマークも決定され、意匠登録されております。

さらに、1983 年 6 月に消防関係では初めて、国際連合広報部から非政府機関(NGO)として承認されており、現在は 121 力国が加盟されております(表 1 参照)。

(3)世界義勇消防連盟の活動内容

①総会及び地域総会の開催

世界義勇消防連盟は、世界の国々をアメリカ地域、ヨーロッパ・アフリカ地域及びアジア・オセアニア地域の 3 地域に区分しております。

会議は、全加盟国の代表者が出席して開催される総会と、当該地域の加盟国の代表者が出席して開催される地域総会があります。



世界義勇消防連盟のマーク

これまでの会議は、表 2 のとおり開催されました。

会議には、必ず元首又は政府の代表者が出席されるなど、国際機関としての格調の高さを物語っております。

また、理事会、分科会、全体会議等が開催されており、世界の義勇消防が当面する諸問題や重要事案について活発な討議、情報の交換等が行なわれております。



写真 1 F.W.V.F.A. 総会

表1 世界義勇消防連盟加盟国一覧

<p>アジア・オセアニア地域(42カ国)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アフガニスタン共和国 2. オーストラリア 3. バングラデシュ人民共和国 4. ブータン王国 5. ブルネイ・ダルサラーム国 6. 中華人民共和国 7. キプロス共和国 8. フィジー共和国 9. 香港 10. インド 11. インドネシア共和国 12. イラン・イスラム共和国 13. イスラエル国 14. 日本国 15. ヨルダン・ハシミテ王国 16. キリバス共和国 17. 大韓民国 18. ラオス人民民主共和国 19. クウェート国 20. マカオ 21. マレーシア 22. モルジブ共和国 23. マーシャル諸島共和国 24. ミクロネシア連邦 25. ネパール王国 26. ミャンマー連邦 27. ナウル共和国 28. ニューゼーランド 29. パキスタン・イスラム共和国 30. パプアニューギニア 31. パラオ 32. フィリピン共和国 33. 西サモア 34. サウジアラビア王国 35. シンガポール共和国 36. ソロモン諸島 37. スリランカ民主社会主義共和国 38. シリア・アラブ共和国 39. タイ王国 40. トルコ共和国 41. トング王国 42. ベトナム社会主義共和国 	<p>アメリカ地域(27カ国)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アルゼンチン共和国 2. バルバドス 3. ボリビア共和国 4. ブラジル連邦共和国 5. カナダ 6. チリ共和国 7. コロンビア共和国 8. コスタリカ共和国 9. ドミニカ共和国 10. エクアドル共和国 11. エルサルバドル共和国 12. グアテマラ共和国 13. ガイアナ協同共和国 14. ハイチ共和国 15. ホンジュラス共和国 16. ジャマイカ 17. メキシコ合衆国 18. パナマ共和国 19. パラグアイ共和国 20. ペルー共和国 21. セントクリストファー・ネイビス 22. セントルシア 23. セントビンセント・グレナディーン諸島 24. スリナム共和国 25. トリニダード・トバゴ共和国 26. アメリカ合衆国 27. ウルグアイ東方共和国 <p>ヨーロッパ・アフリカ地域(52カ国)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オーストリア共和国 2. ブルンジ共和国 3. カメルーン共和国 4. 中央アフリカ共和国 5. コートジボアール共和国 6. チェコ・スロバキア連邦共和国 7. デンマーク王国 8. ジブチ共和国 9. エジプト・アラブ共和国 10. エストニア共和国 11. フィンランド共和国 12. ガボン共和国 13. ガンビア共和国 14. ドイツ連邦共和国 15. ガーナ共和国 	<ol style="list-style-type: none"> 16. ギリシア共和国 17. ギニア共和国 18. ハンガリー共和国 19. アイスランド共和国 20. アイルランド 21. イタリア共和国 22. カザフスタン共和国 23. ケニア共和国 24. リベリア共和国 25. 社会主義人民リビア・アラブ国 26. マダガスカル民主共和国 27. マラウイ共和国 28. マリ共和国 29. モーリシャス共和国 30. オランダ王国 31. ナイジェリア連邦共和国 32. ノルウェー王国 33. ポルトガル共和国 34. ルーマニア 35. サンマリノ共和国 36. セネガル共和国 37. セイシェル共和国 38. シエラレオネ共和国 39. ソマリア民主共和国 40. 南アフリカ共和国 41. スペイン 42. スーダン共和国 43. スワジランド王国 44. スウェーデン王国 45. トーゴ共和国 46. チュニジア共和国 47. ロシア連邦共和国 48. グレートブリテンおよび北部アイルランド連合王国 49. タンザニア連合共和国 50. ユーゴスラビア社会主義連邦共和国 51. ゼンビア共和国 52. ジンバブエ共和国 <p style="text-align: center;">計121カ国</p>
---	--	--

表2 世界義勇消防連盟の会議開催状況

区分	回	開催年月日	開催地・会場		参加国・参加者数
			国名	都市・会場名	
総 会	第1回	1982年 12月1日～2日	日本	東京 笹川記念会館	17カ国 42名
	第2回	1983年 11月20日～24日	日本	東京 東京プリンスホテル	37カ国 80名
	第3回	1986年 9月5日～7日	アメリカ	ニューヨーク市 国際連合総会議場	67カ国 96名
	第4回	1990年 9月28日～30日	デンマーク	コペンハーゲン市 スカンジナビアホテル	84カ国 114名
地 域 総 会	第1回	1983年 9月28日～10月1日	アメリカ	シアトル市 レッドライオン	11カ国 22名
	〃	1984年 9月7日～10日	タイ	バンコク市 ハイアット・セントラルプラザ	25カ国 50名
	〃	1985年 9月28日～30日	イタリア	ミラノ市 ミラノフィオーリ国際会議場	32カ国 60名
	第2回	1987年 10月29日～11月1日	中国	北京市 崑崙ホテル	36カ国 48名
	〃	1988年 9月30日～10月2日	イギリス	ロンドン市・グロブナー・ハ ウス国際会議場	41カ国 61名
	〃	1989年 9月28日～30日	チリ	サンチャゴ市 ディエゴ・ポルタレス・ビル ディング	34カ国 67名
	第3回	1991年 9月24日～26日	インドネシ ア	ジャカルタ市 コンベンションホール	32カ国 41名
〃	1992年 10月3日～5日	アルゼンチ ン	ブエノスアイレス市 コロソ劇場	34カ国 43名	

更に、開催国義勇消防隊の総力を結集した観閲や分列行進、消防訓練等の演技、その他のデモンストレーションが盛大に繰り広げられております。

また、総裁主催のレセプション、議長主催のパーティーなどが必ず開催されており、会議参加者相互間のより一層の親睦、交流、情報交換が図られるようになっております。

②消防技術援助事業

消防資機材や消防技術が充分でない開発途上国に対し、先進7カ国による消防ポンプ自動車等の資機材の供与、消防技術の向上を図るための消防専門家の派遣など消防技術の分野においても、活発な活動が行なわれております。

③基盤強化事業

加盟 121 力国(H. 4. 12. 31 現在)及び未加盟国に対し、機関紙(年 1 回発行)や連盟の

事業についての映画・ビデオを無料で配布し、情報の交換と未加盟国に対する加盟の促進を図っております。

2. 日中消防定期協議会の開催及び中国消防協会との交流

日本消防協会と中国消防協会は、協力関係を促進することにより両国消防の発展を図るため、昭和60年4月25日、日本消防会館ニッショーホールにおいて、「日中消防協会友好結成協定」を締結しました。

以後、この協定に基づいて、

日中両国の消防協会間において毎年定期的に協議会が開催されております。

(1) 日中消防協会定期協議会の開催

毎年定期的に日本と中国で相互に協議会を開催し、事業の決定、実施結果の報告及び日中両国の当面する諸問題について協議するものであります。

既に8回の協議会が実施され、平成4年度は第8回の協議会を北京市で開催し、平成5年度は東京で6月に開催の予定であります。

(2) 長期消防研修生の受入れ

日本の消防制度、技術等を修得させることを目的に、中国消防協会から毎年5名、1年間受入れ、自治省消防庁、消防大学校、財団法人日本消防検定協会、東京近郊の消防機関及び消防関係企業のご理解とご協力を得て、研修を行っております。

すでに29名が研修を終了し、中国各地において立派に活躍されております。



写真2 第8回日中消防協会定期協議会祝賀会場

3. 海外消防事情の視察

我が国の消防団長等幹部が、海外の消防の制度、福祉及び技能を調査し、あわせて国際社会の政治、経済、文化等の見聞を広め、我が国消防の発展に資することを目的に、毎年視察団を結成し、アジア地域、ヨーロッパ地域及びアメリカ地域を視察しております。なお、これらの視察団の参加者に対して日本消防協会は、基準により経費の一部を助成しております。

おわりに

F. W. V. F. A. は、義勇消防の世界的な組織であり、10年の実績をもっております。

なかでも、中心的存在である日本消防協会と笹川総裁にかける期待は、各加盟国とも大きなものがあります。

今年、11月中旬、東京において121力国が参加してF. W. V. F. A. 第5回総会を開催する予定であり、この総会を契機に、更に連盟の活動はより具体的な方針が示され、21世紀に向けてますます活発な展開をみせていくことと思っております。